



株式会社 丸仙工業

大川家具と博多織のコラボ商品で
福岡デザインアワード金賞を受賞



1 新商品の食器棚と田中社長。棚の前にふすま状の扉があり、閉じるとすっきりした空間になる 2 本社社屋と工場。2階にはショールームを併設 3 昨年の福岡デザインアワードで金賞を受賞した大川家具と博多織のコラボ作品。材料も県産を使用 4 家具の加工や板の研磨など、職人が一つ一つ丁寧にやっている工場内 5 材料の切断や穴あけなどを自由自在にできるCNC（デジタル制御）加工機

【企業情報】

- 本社所在地 = 間 690-2
- 72・2201
- 資本金 = 1000万円
- 代表取締役 = 田中智範
- 従業員 = 34人

至新田大橋

宮上 間 丸仙工業 マミーズ 至市街地

今回紹介する企業は、食器棚や書棚などの家具の製造販売や、壁面に備え付ける収納家具の設計・施工などを手掛ける、株式会社丸仙工業です。田中智範社長（42歳）の祖父、故田中仙吉さんが昭和36年、大川市で木工所を創業。昭和63年、現在の土地、間に工場と本社を新築移転。社名を株式会社丸仙工業に変更し同社は設立されます。昭和のバブル期には3尺や4尺と言われる食器棚を1日200台

以上も製造していたこともあったのですが、大量生産の時代は終わり、現在は、少量でも、付加価値のある商品づくりに取り組んでいます。

3、4年前からは設計会社や工務店などと手を組み、壁面に備え付ける収納家具の設計・施工に力を入れる同社。田中社長は「それぞれの家にピッタリの家具を作るため、手間暇かかる仕事ですが、住宅やマンションの改築などで、確実に需要は伸びています。7月からは、お客様がインターネットでサイズや色などを入力するだけで発注できるサービスも始めます」と力を込めます。

大川家具工業会が主催するコンペでも数多く受賞歴がある同社。平成25年の「住空間デザインコンペ」では、廊下を無くし、台所やリビング、書斎などを一つの空間にコンパクトにまとめた商品を提案し

21年に続き、2回目の内閣総理大臣賞を受賞。商品は、筑後市の市営住宅に採用されました。また、昨年開かれた福岡デザインアワードでは、大川家具と博多織をコラボレーションしたテーブルやベンチ、椅子を出品。見事金賞を獲得し、大川家具の新しい可能性を見いだしています。

●社長のひとこと

生活スタイルの変化に伴い、家具も大きく変化しています。今は物を持たない生活スタイルに変化しているため、圧迫感のない、シンプルで統一感のある家具の需要が伸びています。スギやヒノキ、センダンなど国産材を使った商品づくりにも力を入れながら、これからお客様の住空間に最高の「夢」「感動」「幸福」を提供していきます。

【問】市商工・ブランド振興課 商工・企業誘致推進係 ☎77・8762